



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社要興業 上場取引所 東  
 コード番号 6566 URL <https://www.kaname-k.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)木納 孝  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)村木 宣彦 (TEL) 03(3986)5352  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	5,875	10.4	641	104.0	650	88.6	437	118.2
2021年3月期第2四半期	5,320	△7.9	314	△31.8	344	△26.8	200	△36.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 458百万円 ( 91.5%) 2021年3月期第2四半期 239百万円 ( △23.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	27.59	—
2021年3月期第2四半期	12.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	21,031	16,041	76.3
2021年3月期	20,845	15,775	75.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 16,041百万円 2021年3月期 15,775百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,681	6.2	1,111	24.0	1,135	21.1	767	24.1	48.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	15,871,400株	2021年3月期	15,871,400株
2022年3月期2Q	42株	2021年3月期	42株
2022年3月期2Q	15,871,358株	2021年3月期2Q	15,871,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の提出日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算における決算説明動画及び決算補足説明資料につきましては、2021年11月26日(金)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①2022年3月期 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済のペースダウンや米国向け自動車の下振れなどを受けて輸出が一服し、個人消費においては、新型コロナウイルス感染拡大防止による経済活動の制限が続くなかで、増加と減少を繰り返しております。また、世界経済においては、国によってワクチン接種率に大きな差があるため、回復状態が不均一となっており、先進国、新興国双方の市場がさまざまなリスクにさらされ、予断を許さない状態が続いております。

当社グループの主要業務である廃棄物処理業につきましては、循環型社会形成の推進及び資源の有効利用促進といった、環境保全や法令遵守において当業界に対する社会的要求の高まりに応える努力と変革が求められており、また、コロナ禍において政府が定めた「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」により、緊急事態宣言時においても国民の安定的な生活の確保や社会の安定の維持のため、十分な感染防止策を講じつつ、事業を継続することが求められております。

このような経営環境の下、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬処分業務を主業とし、より厳格なコンプライアンスや適正処理の推進、顧客ニーズに合致する営業活動と業容の拡大に取り組んでまいりました。また、資源相場が回復したこと及び徹底した原価低減を継続したこと等により、前年同期に比べ大幅な増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は5,875,270千円（前年同期比10.4%増）となりました。また、営業利益は641,335千円（前年同期比104.0%増）、経常利益は650,074千円（前年同期比88.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は437,945千円（前年同期比118.2%増）となりました。

#### ②セグメント別の概況

当社グループは単一セグメントではありますが、事業区分別の売上高では、収集運搬・処分事業3,984,537千円（前年同期比9.5%増）、リサイクル事業571,406千円（前年同期比69.7%増）、行政受託事業1,319,326千円（前年同期比1.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,867,182千円となり、前連結会計年度末に比べ17,968千円増加いたしました。主な要因は、売掛金が33,339千円増加し、鹿浜リサイクルセンター既存建物建替え工事の支払い等により現金及び預金が28,789千円減少したことです。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は15,164,029千円となり、前連結会計年度末に比べ167,421千円増加いたしました。主な要因は、鹿浜リサイクルセンター既存建物建替え工事の完成等により建物および構築物が572,264千円増加し、建設仮勘定が397,536千円減少したことです。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,950,062千円となり、前連結会計年度末に比べ92,564千円減少いたしました。主な要因は、未払消費税等が減少したこと等により流動負債その他が109,393千円減少したことです。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は3,039,930千円となり、前連結会計年度末に比べ12,352千円増加いたしました。主な要因は、鹿浜リサイクルセンター既存建物建替え工事における追加資金調達のため長期借入金が64,129千円及び退職給付に係る負債が22,195千円増加し、リース債務が78,530千円減少したことです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は16,041,219千円となり、前連結会計年度末に比べ265,601千円増加いたしました。主な要因は、配当金の支払による174,584千円の減少と四半期純利益による437,945千円の増加及び会計方針の変更による期首繰越利益剰余金18,456千円の減少により利益剰余金が244,903千円増加したことです。

② キャッシュ・フローの状況

当社グループの当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度の期末残高に比べ、28,790千円減少し、3,493,138千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が651,362千円となったこと及び減価償却費259,934千円と、法人税等の支払額203,363千円があったこと及び未払消費税等が167,040千円減少したこと等により、532,998千円の収入となりました（前年同期は620,163千円の収入）。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、鹿浜リサイクルセンター建替え工事等の有形固定資産の取得による支出314,336千円等により、364,619千円の支出となりました（前年同期は460,330千円の支出）。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入250,000千円及び長期借入金の返済による支出175,965千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出110,178千円、配当金の支払による支出174,757千円等により、197,169千円の支出となりました（前年同期は498,402千円の支出）。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年6月15日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年11月12日）別途開示しております「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,484,142	4,455,352
売掛金	1,275,879	1,309,219
商品	4,388	4,490
貯蔵品	21,849	14,768
前払費用	46,684	73,477
その他	16,689	10,303
貸倒引当金	△420	△430
流動資産合計	5,849,214	5,867,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,759,257	2,331,521
土地	8,814,648	8,814,648
リース資産(純額)	532,321	426,672
建設仮勘定	413,412	15,875
その他(純額)	354,645	374,745
有形固定資産合計	11,874,284	11,963,463
無形固定資産		
その他	69,699	58,372
無形固定資産合計	69,699	58,372
投資その他の資産		
投資有価証券	860,365	894,841
繰延税金資産	314,613	313,233
保険積立金	1,683,313	1,743,163
その他	195,864	192,488
貸倒引当金	△1,532	△1,532
投資その他の資産合計	3,052,623	3,142,193
固定資産合計	14,996,608	15,164,029
資産合計	20,845,822	21,031,212

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	304,940	298,660
短期借入金	137,632	151,364
1年内返済予定の長期借入金	337,652	347,557
リース債務	240,872	204,578
未払法人税等	225,867	239,610
賞与引当金	201,769	223,792
その他	593,892	484,498
流動負債合計	2,042,626	1,950,062
固定負債		
長期借入金	943,666	1,007,795
リース債務	334,005	255,475
繰延税金負債	678,894	678,285
退職給付に係る負債	583,720	605,916
役員退職慰労引当金	436,462	441,410
その他	50,829	51,048
固定負債合計	3,027,578	3,039,930
負債合計	5,070,204	4,989,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,736	827,736
資本剰余金	1,400,341	1,400,341
利益剰余金	13,347,350	13,592,254
自己株式	△40	△40
株主資本合計	15,575,388	15,820,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,229	220,927
その他の包括利益累計額合計	200,229	220,927
純資産合計	15,775,618	16,041,219
負債純資産合計	20,845,822	21,031,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,320,604	5,875,270
売上原価	4,473,865	4,693,746
売上総利益	846,739	1,181,524
販売費及び一般管理費	532,291	540,188
営業利益	314,447	641,335
営業外収益		
受取利息	380	272
受取配当金	6,289	6,017
保険解約返戻金	8,833	4,698
雇用調整助成金	18,837	—
その他	6,859	6,974
営業外収益合計	41,198	17,963
営業外費用		
支払利息	10,807	9,223
その他	80	—
営業外費用合計	10,887	9,223
経常利益	344,759	650,074
特別利益		
固定資産売却益	7,458	1,287
特別利益合計	7,458	1,287
特別損失		
固定資産売却損	68	—
固定資産除却損	40,730	0
特別損失合計	40,798	0
税金等調整前四半期純利益	311,419	651,362
法人税等	110,753	213,416
四半期純利益	200,665	437,945
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,665	437,945

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	200,665	437,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,827	20,697
その他の包括利益合計	38,827	20,697
四半期包括利益	239,493	458,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,493	458,643

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	311,419	651,362
減価償却費	295,033	259,934
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,832	4,948
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,587	22,023
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	319	10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36,061	22,195
受取利息及び受取配当金	△6,669	△6,290
支払利息	10,807	9,223
保険解約返戻金	△8,833	△4,698
固定資産売却損益 (△は益)	△7,390	△1,287
固定資産除却損	40,730	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,810	△33,339
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,129	6,978
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,677	△6,279
未払消費税等の増減額 (△は減少)	100,111	△167,040
預り金の増減額 (△は減少)	3,961	3,946
その他	△71,340	△22,219
小計	706,273	739,467
利息及び配当金の受取額	6,499	6,118
利息の支払額	△10,807	△9,223
法人税等の支払額	△81,802	△203,363
営業活動によるキャッシュ・フロー	620,163	532,998
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1	0
有形固定資産の取得による支出	△389,557	△314,336
有形固定資産の売却による収入	5,584	3,594
有形固定資産の除却による支出	△40,653	—
無形固定資産の取得による支出	△1,705	△4,927
投資有価証券の取得による支出	△4,252	△4,473
保険積立金の積立による支出	△59,346	△64,439
保険積立金の払戻による収入	32,208	20,070
その他	△2,605	△108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460,330	△364,619

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,055	13,732
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△175,919	△175,965
社債の償還による支出	△20,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△133,487	△110,178
配当金の支払額	△174,050	△174,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	△498,402	△197,169
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△338,569	△28,790
現金及び現金同等物の期首残高	3,366,210	3,521,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,027,641	3,493,138

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社の税金費用については、当第2四半期会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来は売上に計上しておりました袋売り売上(処理費代他込み)の一部を流動負債その他として計上しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は443千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ443千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は18,456千円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。